

事業名 路地の栞

実施団体 こどもの路地実行委員会

# こどもの路地実行委員会とは？

古い町並みが残る街には細い道、いわゆる”路地”があるところが多くありません。

”西陣”と呼ばれる地域を含む、京都市上京区にも今なお生活の場として多くの路地が残っています。

しかし、ライフスタイルの変化や高齢化による独居の問題、災害時の避難経路確保の問題、現行の建築基準法に適合しない”再建築不可”物件となるなど、空き家が増え、倒壊危険家屋となっても誰も手がつけられない状況に陥るなど、地域にとっての課題も多くあります。

その一方で、一つの空間を共有する者同士のコミュニティの存在や、車が入ってこれない子供にとって安全な環境、家賃が安く若い人や子育て世帯に適したアフォーダブルな住宅としての可能性が存在する事も確かです。

私たち”こどもの路地実行委員会”は、路地を地域振興のための「資源」と位置づけ、路地中に根付く生活文化やコミュニティの存在、安全面などポジティブな面に目を向け、そのイメージの向上と活用促進を図るとともに、歴史ある街の”路地からの地域活性化”を目指しています。





(路地の葉)

# ろじカル探偵団

## 団員の心得

制作日時／2020年3月 配布先／各小学校  
配布日時／コロナの影響により調整中、  
随時配布予定

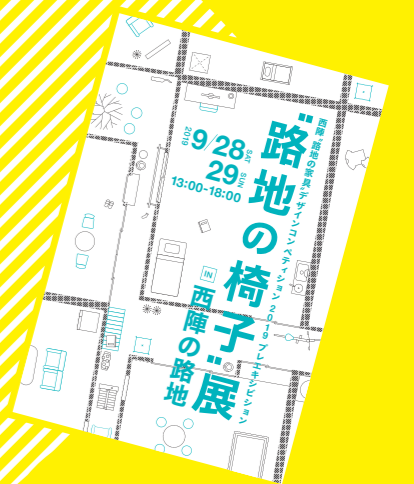
昨本主旨の賛同者や路地に関わる地域との連携を目指し、広く活動の周知ができるようにすること目的に、新たな情報発信のコンテンツを考案。A3両面カラー、冊子のように子ども達が自分自身で作れる路地の葉と題して「ろじカル探偵団 <団員の心得>」を制作した。



# 路地の椅子展



開催日時／2019年9月28日(土)29日(日)  
13:00~18:00  
場所／京都市上京区若松町の路地  
(六軒町通一条上ル)  
来訪者数／40人



“路地の家具”とは路地に置かれ、そこでの生活や文化、そして空間を豊かにする家具的な立体物全般を指し、「ストリートファニチャー」の一種として新たに提案。本展では特に「椅子」をテーマに学生たちが制作したものの中から、“路地の家具”として未来へ向け路地のあり方に繋がる意欲的な椅子をピックアップし、西陣の路地空間に設置。本展を通して学生たちの新鮮な目線はもちろん、“路地の家具”により浮かび上がる西陣の路地の魅力と可能性に触れる機会を作った。

# 路地まち散歩

## 上七軒編

開催日時／2019年11月16日(土)  
14:00~16:00

集合場所／北野天満宮 東門  
解散場所／京都信用金庫 西陣支店  
路人(ガイド)／富家 裕久  
参加者数／9名

地元の路地に詳しい「路人(ろじん)」と一緒に散歩。ガイドの方々のそれぞれ得意分野である路地周辺を散策。路地探索はもちろん、路地中に潜む穴場スポットや地域の歴史スポットを巡る。

